

厚年本体の平成23年度 運用実績(弊社推計値)について

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考にDB年金のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

平成23年度（H23.4.1～H24.3.31）の厚年本体における運用利回りは、**2.2%**と推計されます。（弊社推計値）

平成24年4月時点での弊社の推計値です。実際の厚生年金保険本体の運用利回りとは異なる場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

厚年基金への影響

下線部が該当箇所

H24.3.31

最低責任準備金 (継続基準) ¹	H22年度	H23年度	1年9ヶ月の期ズレ		
	0.26%	2.2%	↓		
最低責任準備金 ²	H21年	3.54%	H24年(暦年)	H25年(暦年)	
	H22年	6.83%	0.26%	2.2%	
	H23年	7.54%	↓		
回復計画上の 最低責任準備金 ³ (H23年度決算使用値)			H24年(暦年)	H25年(暦年)	H25年以降
			0.26%	2.2%	% ^{4,5}
			↓		

- 平成24年度財政検証から継続基準に用いる最低責任準備金の算出方法が変更される([年金ニュースNo.285](#))
- 非継続基準等に使用
- 平成23年度までの指定基金にかかる回復計画(健全化計画)は除く([年金ニュースNo.285](#))
- 前年度決算使用値は0.01%
- 回復計画上の最低責任準備金の付利率については [次頁](#)ご参照

平成23年度の回復計画上の最低責任準備金の付利率¹

- 回復計画策定上の最低責任準備金の予測に用いる利率は、以下の、のいずれか小さい率を下回らないように定める。
 厚年本体の直近5年の運用実績。ただし、当該平均値がマイナスの場合は、当該実績値に基づき合理的に見込まれる率
 厚年本体の財政検証における運用利回りの前提
- 今回の推計値2.2%を使用すると「利用可能な厚生年金本体の直近5年の運用実績の平均値」は「0.18%」と推計されますが、回復計画上においてマイナス利回りを前提とすることは合理的とは言えない可能性があり、「回復（健全化）計画上の最低責任準備金」の予測値は現状不明です。（今後行政照会予定）

¹ 財政運営基準の見直しにより、平成24年度（平成25年3月末）財政検証以降は改定される
 （詳細は [年金ニュースNo.285](#) をご参照）

（厚生年金本体の運用実績）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
年度実績	3.54 %	6.83 %	7.54 %	0.26 %	2.2 %
過去5年の実績値の平均に基づき合理的に見込まれる率					%

（平成23年度回復計画策定上の最低責任準備金の付利率）

	平成25年1月～12月	平成26年以降
付利率（過去5年平均）	2.2 %	%
付利率（厚年本体の前提）		2.03 %～4.10% ²
と の小さい方	-	%

² 平成21年厚生年金本体の財政検証における運用利回り前提に基づく付利率

（ご参考：平成21年厚生年金本体の財政検証における運用利回り前提）

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32年度以降
利率（%）	1.47	1.78	1.92	2.03	2.23	2.57	2.91	3.39	3.65	3.85	4.00	4.10

厚年本体運用実績の推計方法

厚生労働省「平成22年度年金積立金運用報告書」、年金積立金管理運用独立行政法人「平成22年度業務概況書」、年金積立金管理運用独立行政法人HPより

	内容	推計方法
市場運用分	年金積立金管理運用独立行政法人による市場運用。	第3四半期までは公表値。 第4四半期はベンチマーク収益率に基づき推計。
財投債引受け分	年金積立金管理運用独立行政法人による財投債運用（既引受けのみ）。	過去の発行実績を基に全額満期まで保有する前提で推計。

以上